

つなぐ



<設立状況(R4.10.1) 全41地区中>
 まちづくり協議会 30(32 地区)
 まちづくり協議会準備会 0(0 地区)

Vol.45

発行：松山市役所 まちづくり推進課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-1821

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicommunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

Facebook まちづくり協議会情報局



石井地区まちづくり協議会の活動

デジタルの活用



災害への備え



石井地区まちづくり協議会では、デジタルを活用したまちづくりを進めています。

まず、役員や各町内会へタブレット端末を配布、各分館にインターネット環境を整備しました。町内会長や地域住民を対象に、各分館でオンライン会議の事前練習を行い、地区全体のスキルアップを図りました。

そのあと実践に移り、青色防犯パトロール講習会やマイタイムライン作成研修会、福祉講座をオンラインで開催するなど、コロナ禍での三密対策や災害時の情報共有に向けて着実にデジタル化を進めています。

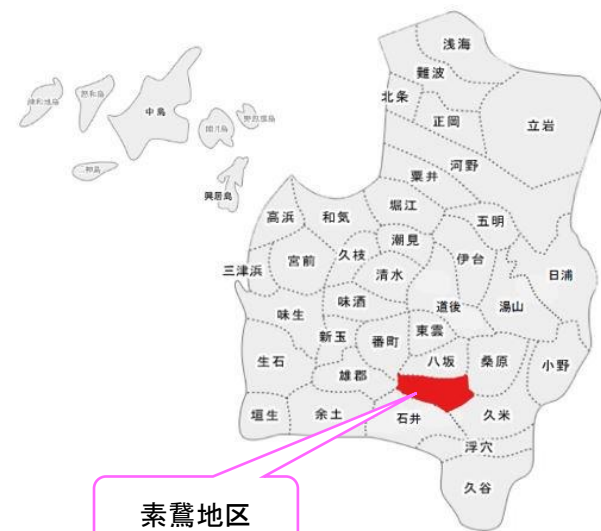
また、石井地区では、災害への備えにも力を入れています。大規模災害が発生したときに住民が一時避難できる場所を確保するため、石井地区の5事業所と「災害時の支援活動に関する覚書」を締結しています。いつ起こるか分からない災害に備えるまちづくりに取り組んでいます。

まち協設立地区紹介コーナー

素鷲地区まちづくり協議会

人口：19,368人
世帯数：11,443世帯
※R4.9.1現在

素鷲地区は市街地に近く、小売店や病院なども充実していて、暮らしに便利な環境が整っている地区です。北側には石手川が流れていて、春になると満開の桜並木を楽しむことができます。



地区の見どころ

◎橋の虹

素鷲地区には湯渡橋、新立橋、永木橋、中村橋、立花橋、鉄橋、末広橋と7つの橋があります。それぞれの橋にイメージカラーがあり7色になることから、橋の虹と呼んで地域で親しんでいます。

◎和田重次郎の育ったまち

和田重次郎は、若くしてアメリカに渡った後カナダ・アラスカを探検し、偉大な功績を残しました。令和2年度から冬に顕彰碑やその付近をイルミネーションでライトアップしています。今年度もイルミネーションを計画中！

湯渡橋	赤
新立橋	橙
永木橋	黄
中村橋	緑
立花橋	青
鉄橋	藍
末広橋	紫

【橋の虹イメージカラー】 【ライトアップされた和田重次郎顕彰碑】



活動内容の一例

◎防災力の向上

毎年、地域の企業や住民が協力し、避難訓練を実施しています。災害が発生したときに、1人では避難が難しい人々を助けるため、防災士だけでなく町内会長や民生委員と協力をしながら活動をしています。



◎そがの歴史カルタ

地域住民や素鷲小学校、福音小学校、拓南中学校の子ども達と協力して、素鷲にまつわる歴史を題材にしたカルタを作成しました。今後、カルタとり大会やカルタに登場したスポットを巡るウォーキングコースの開拓など、考え中！



10月は食品ロス削減月間です！

10月は食品ロス削減推進月間です。

まだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」は全国で年間約522万トンあると推計されています。松山市は、今年3月に県内市町でいち早く「松山市食品ロス削減推進計画」を策定し、食品ロスの削減に取り組んでいます。

食べ物を無駄なくいただき、不要になった食品はフードドライブを行っている店舗に寄付するなど、食品ロス削減にご協力ください。

松山市内のフードドライブ

↓常設店舗はこちら



フードドライブセットの貸し出しについて↓



フードドライブセットの貸し出し

○フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、必要としている方に届ける活動です。

○地域のイベント等でフードドライブを行う団体に、のぼり旗や食品を入れる箱、啓発パネルを貸し出します。

○申込等については、左記 QR コード「フードドライブセットの貸し出しについて」をご覧ください。

【お問い合わせ】

松山市 環境モデル都市推進課

TEL:089-948-6756



事例紹介① 伊予市

いぬよせ「犬寄峠の黄色い丘」

「犬寄峠の黄色い丘」とは、伊予市佐礼谷の住民（現管理人）が、地域活性化のために人を呼び込めないうえ、元ミカン畑だった耕作放棄地を開墾した花畑です。

住民自治組織や地元の NPO 法人が協力して、野外ライブや撮影コンテストなど様々な仕掛けをしていて、人と人との交流拠点となっています。周囲360度を見渡せる丘は、年間を通して、黄色い花や木を楽しむことができます。 Facebook はこちら→



今後も、他市町のまちづくりの事例を紹介していきます！ まちづくり協議会などでの活動の参考になれば幸いです。

まちづくり協議会の
みなさまへ

まち協サポート隊「まちサポ」を ご活用ください！！



【ボランティアの対象】

まちづくり協議会が行う活動

【活動内容】

- ・ イベントなどのお手伝い
- ・ 会議資料、チラシ、広報紙などの作成補助

【活動までの流れ】

- ① まちづくり協議会→まちづくり推進課
まちサポを要請
 - ② まちづくり推進課が、協力可能な隊員を
調整し、協議会に回答
 - ③ 実際の活動
- ※利用についてお気軽にご相談ください。

【問合せ先】

松山市 まちづくり推進課

地域まち担当

電 話：089-948-6963

メール：zichi@city.matsuyama.ehime.jp

まちサポとは？

「まちづくり協議会」の
様々な活動をお手伝いする
市職員で構成された
ボランティアスタッフのことです。

※活動時は、職員としてではなく、
ボランティアとして伺います。



←活動の様子

平成30年度
清水地区まちづくり協議会
どじょう施餓鬼 出店の手伝い

第40回 まちづくりで 輝く 人

地域で活躍している人を紹介します

石井地区まちづくり協議会

ICT推進委員会

会長 松田 泰さん



趣味・経歴
造園や庭木の剪定、
菜園の手入れが生き
がい！海を住处とす
る元自衛官。

今回の表紙を飾った、石井まち協のICT推進に尽力されたお一人である松田さんを紹介します。

【どのような活動に取り組まれていますか？】

ICT (Information and Communication Technology) 推進委員会が令和3年度「新設やれ、委員会会長として石井地区まちづくり協議会のデジタル化を進める活動をしています。

【活動をしていて良かったことや嬉しかったこと】

新型コロナウイルス感染症拡大により対面形式での会議等ができなくなったことで、改めてデジタル化の大切さに気付かされました。委員会の積極的な活動を通して、少しずつ石井地区のデジタル化が進んでいると感じられることは大きな喜びです。

【活動をしていて苦労したこと】

これまでの会議は対面での話し合いが前提だったので、発想を変えてデジタル化を進めるのは大変でした。また、パソコンやスマホを操作するスキルを身につけることに苦労しました。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

この1年で、石井地区23町内会は相互にオンライン会議が実施できるレベルまで技術が向上しました。今後は、ICT推進委員会に更に調査や研究を重ね、防災分野などでのデジタル化による情報共有などに取り組みたいと思っています。